

を今後の100年へとつなぎ、次世代に残して敬神崇祖の誠を護持すべく、改修事業計画が策定されました。施工は令和元年から5年までの5か年の計画での実施予定となっております。この百年遷宮事業は、河内神社合祀以来の大事業であり、多くの費用が必要となります。昨今の厳しい経済環境の折、誠に恐縮ではありますが、事業の主旨をご理解いただき、格別の協賛、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

なお、奉賛に当たりまして、ご芳名をご神殿に奉納し、玉垣・芳名版等に刻み、功績を讃え後世に残して参ります。

令和元年9月吉日

河内神社

宮司 責任役員

山本茂雄

河内神社百年遷宮事業奉賛会

責任役員

大田川

責任役員

田中孝治

責任役員

先民治

●玉垣でお名前を顕彰します

玉垣での顕彰は、40万円(1単位)以上です。

40万円(1単位)以上〔個人〕

玉垣1本につき、1名を地区名・氏名の順で彫ります。(ご夫婦・ご家族の場合は2名まで条件により並記が可能)

例) 中郷 ○山 ○郎

藤の木 ○島 ○雄子

40万円(1単位)以上〔法人・団体など〕

玉垣1本につき、法人名・団体名を彫ります。(100万円以上は代表者氏名の彫刻も可能)

文字はすべて楷書体です。
玉垣の設置は、ご神前での籤により定めます。
100万円以上の方の顕彰は、別途、籤による順に希望場所とします。

●感謝状を進呈します

10万円以上の方すべてに、感謝状を進呈して功績を讃えます。

●芳名版で顕彰します

1万円以上の方すべてのお名前を金属製の芳名版で顕彰します。

●奉賛者名はすべて神殿に奉納

すべての奉賛者のお名前をご本殿に奉納します。

河内神社百年遷宮事業奉賛会事務局

〒731-5151 広島市佐伯区五日市町上河内359-1
河内神社社務所内

電話 082-928-2283 FAX 082-927-5215

http://kochijinja.org/ 幸せ河内神社 検索



上河内・下河内・上小深川
下小深川・藤の木・河内南
総氏神 河内神社



百年遷宮事業 奉賛のお願い

河内神社百年遷宮事業趣意書

河内神社百年遷宮事業奉賛会

明治40年(1907)、国の政策により村社八幡神社(上河内中郷)、佐古神社(上河内下城)、客人神社(上河内魚切)、日吉神社(下河内・河内南・遥花)、新宮神社三社(下河内白川・上小深川・下小深川)、大宮神社(上小深川野登呂・藤の木)の8社を合祀し、河内神社としました。合祀に併せて村民の浄財を募り、17年掛けて今の河内神社の姿に整備し、大正13年(1924)に竣工しました。

爾来、河内地域(河内・藤の木・河内南)の氏神様、産土神として氏子住民の敬神生活の営みに守られてきました。その間、時の流れ、世代の移り変わりの中で風雪、風雨に耐えてきましたが、本殿・拝殿・境内地各所の腐朽破損が顕著に表れてきました。また、参拝者の中には高齢のため石段を上がることの出来ない人たちも出始めてきました。

この様な現状の中「河内神社百年遷宮事業奉賛会」が結成され、地域の歴史を語る河内神社

●まずは奉賛申込書で

「奉賛申込書」に記入し、地区委員（別紙参照）にお申し出ください。または直接事務局に郵送ください。分納もできます。

●振込は無料です

各支店への持参、同一金融機関からの振込は、手数料無料です。

- ・広島銀行 五日市八幡支店
普通 3249926
- ・J A広島市 河内支店
普通 0025389

●名前に願いを込めて

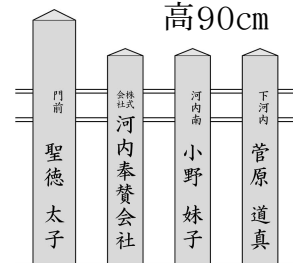
40万円（1単位）以上の顕彰一覧

	限定数
40万円 玉垣（小：A幸せ坂上境内）	×130本
60万円 玉垣（大：A幸せ坂上境内）	×20本
80万円 玉垣（小：B正面参道駐車場）	×60本
100万円 玉垣（大：B正面参道駐車場）	×10本
500万円 注連柱（一対：正面参道）	×1基
1000万円 石燈籠（一対：正面参道）	×1基
2000万円 石鳥居（正面）	×1基

500万円以上の
顕彰については
ご相談ください。

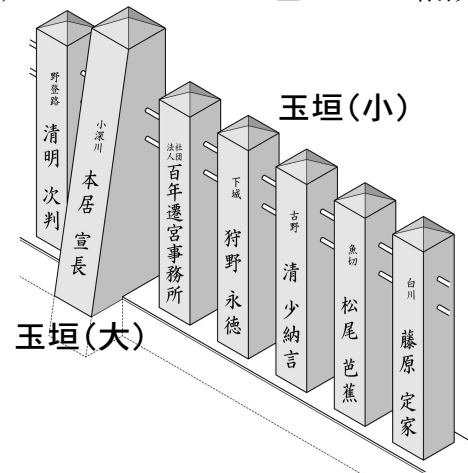
玉垣（大）

18cm角
高105cm



玉垣（小）

15cm角
高90cm



注連柱
高3.0m



石燈籠
高2.7m



石鳥居
高4.0m



ありがとう100年 これからも100年

幸せつながる河内神社は
令和5年(2023)に
合祀100年*を迎えます

●100年に1度の機会

今を生きる私たちにとって、一生に一度の名前を残す、またとない機会です。

- ・子孫に誇れる地域貢献の名誉
- ・家族円満と子孫の繁栄の願い
- ・未来に向かう子供の成長記念
- ・毎年の神社参拝の楽しみ
- ・育ててもらった地域へ恩返し

100年前奉賛した方のお名前は今も境内に並んでいます。

1単位(40万円)の奉賛で

- ・境内への車道1m分
- ・社務所兼授与所1.2畳分
- ・本殿屋根葺替え1.2坪分
が整備されます。

完成イメージ図
竣工目標：令和5年

●より良い地域の宝に

事業総額 1億5000万円（375単位）

事業内容・本殿屋根葺替え、文化財的保存修理
・境内への車道整備・拡幅、駐車場増設
・社務所兼授与所・エレベーターの建設

*河内神社由緒
合祀前の8社には約1120年前の延喜3年(903)に神主山田家が赤牛に乗せてお連れした神様を祀る神社

があります。ほかの各社も

中世には創祀され、江戸時代の

享保6年(1722)の社殿再建

棟札も残っています。遠い祖先のころ

より、幸せつながる神社、河内地域の守護

神、鎮守の神として人々から広く崇敬されています。

